

はんだ

市議会だより

No.204
2018.11.1



- 一般質問、11人が市政を問う!
- 9月定例会審議結果
- 決算認定案の審査から
- 事業評価について
- Qイズ!GIKAIへGO!!を開催
- 政務活動費活動報告

P.2~5

P.6・7

P.8・9

P.10

P.11

P.12

市政を問う

一般質問

9月定例会における市政に関する一般質問は、8月28日、29日、30日に行われ、11人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

* 質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。会議録は市議会ホームページに掲載、もしくは半田図書館・亀崎図書館に設置してあります。ご利用ください。

市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)



創造みらい半田 久世孝宏

半田市が進める教育の成果と今後の方針

問 全国学力学習状況調査から見える半田市の子どもたちはどのような姿ですか。

答 年によって多少の高低はあるものの、「将来の夢や目標を持っている」割合が、全国・県と比べて高い傾向が見られ、目的意識をもって学校生活を送る児童生徒が多いことがわかります。また、「読書が好き」、「本を読んだり借りたりするために学校図書館や地域の図書館に行く」と答えた割合は高く、読書好きで主体的に読書に親しもうとする姿勢が育ちつつある子が多いと言えます。さらに、家庭や地域との繋がりを強める学校運営支援協議会を全校に設置してからは、「地域の方向と関わったり、地域の行事やボランティア活動に参加したりする」児童生徒が多く、地域への意識は高まっています。反面「家で復習や予習をした、自分で計画を立てて勉強したりする」割合が

低いこと、「家で長時間テレビ等を見たり、ゲームやインターネットをしたりする」割合が高く、改善したい点としてあげられます。

半田市では、よりよく生きていくために必要な力を育むキャリア教育を推進して、元氣いっばい、笑顔いっばい、やさしいいっばいの子どもたちを育ててきました。

問 半田市では、よりよく生きていくために必要な力を育むキャリア教育を推進して、元氣いっばい、笑顔いっばい、やさしいいっばいの子どもたちを育ててきました。半田市民全員に関われば効果も高くなると考え、市民へのPRもしてはどうですか。

答 積極的にPRをしていきたいと思っています。

教育のまち半田市を目指し、他市には真似しにくい、結果の伴う教育を重視し、シティブロモーションに取り組みべきと考えます。

問 教育のまち半田市を、積極的にPRしてはどうですか。

答 教育のソフト面も、大いにシティブロモーションになり得ると思います。子どもたちが、自分の将来に夢を持つような自治体であることを高らかに、誇らしげにPRしていきたいと思っています。



創造みらい半田 岩田玲子

発達障がい児と家族への適切な支援

問 現在、15人に1人が発達障がいと言われている。1歳半・3歳児健診では発見されにくい軽度発達障がいについて、前頭葉が発達する年中児くらいの歳に、早期発見や早期対応ができれば、問題なく小学校生活を送ることができると、一方で、対応が遅れると、症状は進行していき、早期発見、早期対応が重要であると考えますが、半田市の見解を伺います。

答 幼児期のできるだけ早い時期に発達障がい把握し適切な支援を行うことで、その後の社会での適応能力が向上することは認識しており、早期発見、早期対応は重要と考えます。

5歳児健診は、発達障がいを早期発見し、親の心配事を受け止める健診です。半田市で実施の考えはありますか。

問 5歳児健診は、発達障がいを早期発見し、親の心配事を受け止める健診です。半田市で実施の考えはありますか。

答 半田市では、年長児を対象に発達アンケートを行い、結果を保護者と共通認識を持つなか、

必要に応じた療育相談を行っているため、5歳児健診とはば同様の効果が得られると考え、今行う考えはありません。

実際には、先生が親に話しづらいなどの問題があり、発達障がいの懇談会で受け入れもらうのは難しいと伺いますがいかがですか。

問 実際には、先生が親に話しづらいなどの問題があり、発達障がいの懇談会で受け入れもらうのは難しいと伺いますがいかがですか。

答 今後は保育士のスキルアップ、対応能力を高めていきたいと考えています。

子どもの健やかな成長のためには、早期発見・早期対応が本当に大切ですが、どうか保育園や幼稚園の先生のスキルに頼るだけでなく、更なるステップを踏んで、早期発見、早期対応に取り組んで頂きたいと切に願っています。市長のお考えを伺います。

問 子どもの健やかな成長のためには、早期発見・早期対応が本当に大切ですが、どうか保育園や幼稚園の先生のスキルに頼るだけでなく、更なるステップを踏んで、早期発見、早期対応に取り組んで頂きたいと切に願っています。市長のお考えを伺います。

答 岐阜市等で5歳児健診を行っているようですが、取り組みたいです。今後は、関係機関と情報共有をより緊密に行い、発達障がい児と家族に対し、それぞれの状況に応じた支援に努めます。また、早期発見し、何とか療育に結びつけるよう、努力していきます。





志民ネット 小出 義一

空き家対策と高齢者の暮らしを問う

問 全国的に空き家が増えています。半田市の状況はいかがですか。

答 空き家率は、全国平均より上で14・5%です。長期不在等の戸数は、3,340戸です。

問 危険な空き家の把握と対応をどのように行っていますか。

答 危険な空き家は、情報提供等によって把握しています。これまでに74件の情報提供があり、改善を求めた内19件の建物除却、5件の修繕、2件の利用再開がありました。なお、8件が所有者不明です。

問 所有者不明の物件は、略式代執行によって除却も可能ですがいかがですか。

答 略式代執行を行えるよう、必要な措置をとっていきます。

問 空き家は、今後も増加が予測されます。空き家対策計画を策定する考えはありますか。

答 既に準備を進めており、平成31年7月の

策定を目指しています。空き家を管理不全と認定することで、固定資産税減免措置がなくなるそうです。新たな計画策定では、厳格な基準に基づいて管理責任を問えるようにして頂きたいですが、いかがですか。



策定を目指しています。空き家を管理不全と認定することで、固定資産税減免措置がなくなるそうです。新たな計画策定では、厳格な基準に基づいて管理責任を問えるようにして頂きたいですが、いかがですか。



日本維新の会・無所属連合 中川 健一

半田市の学童保育所制度に残る小1の壁をぶち壊そう

問 保育園の保育時間は午前7時30分から午後7時まで。一方で学童保育所の中には平日午前6時30分までが2園、土曜日に午前8時から開園が7園もあります。名古屋市内などで正規社員として働く保護者を無視した制度設計になっているのはなぜですか。

答 ご指摘の点については個別に必要性の相談を頂ければ対応ができる仕組みとなっています。

問 東海市や大府市の学童保育所は定時で午後7時までの開園です。一方で半田市民は午後6時30分以降の延長保育について学童保育所と個別で交渉をする必要があるのはおかしくないですか。

答 午後6時30分までとしてある学童保育所は延長保育の申し込みが無く、委託費削減の目的もあり、午後6時30分までとしています。

問 6月議会でも午後7時までの延長保育の

ニーズが無いのでやっけない学童保育所があるという説明がありました。根拠は何ですか。
答 委託事業として延長保育を行うと1人の子どもを預かる場合でも2人の職員配置が必要で、コストに見合うニーズがないということです。



問 東京都板橋区、東大和市などで実施されている病児保育所のお迎えサービスを半田市も実施すべきと考えますが所見を伺います。

答 必要な時に受診できる医療機関を確保する必要があり、これが困難な状況です。

問 厚生労働省が作成した病児保育事業実施要綱によりますと、病児保育所を設置する条件として送迎サービスをする条件は同じです。半田市は送迎サービスを行う条件を満たしていません。

答 ルールとして可能であっても、責任をもち受け入れる体制が整っていないと考えています。

問 災害廃棄物処理への対策



公明党 山田 清一

災害廃棄物処理への対策

問 本市における仮置場候補地はどこですか。

答 クリーンセンター内のグラウンド及び最終処分場用地の約4万5千㎡を一次仮置場候補地としています。

問 一次仮置場不足分の候補地はどこですか。

答 面積の広い公共用地は、既に災害時の仮設住宅やヘリポート等の予定地となっていることから、今後はその活用方法に優先順位をつけるなど、関係部署と調整を図り、早急に候補地を選定します。

問 災害廃棄物処理についての課題と解決策はありますか。

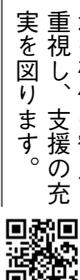
答 できる限り分別収集を行うこと、また収集運搬体制の構築や仮置場の適切な管理・運営が課題です。平時から災害時における対応を協議し、情報交換や訓練を行い災害に備えます。

問 両親の離婚による、ひとり親家庭の支援

答 法務省は「子ども養育に関する合意書作成の手引きとQ&A」の冊子を作成しましたが、市役所窓口において離婚届の対応はどのようになっていますか。

答 未成年の子どものいる方には、離婚後の子どもの健やかな成長と生活を支えるために必要な「面会交流」と「養育費」について話し合うことを説明します。冊子は、対象の方へお渡しするとともに「面会交流」や「養育費の分担」について取り決めていただくよう周知します。

問 ひとり親家庭支援の「面会交流」と「養育費」について



答 ホームページに掲載するなど相談事業を広くお知らせするとともに、子どもの養育環境の確保のために、養育費の分担や面会交流の必要性について広く広報いたします。

問 先進自治体である兵庫県明石市の事例に

答 明石市のみならず、他の先進事例を調査研究し、子どもの養育環境の確保の観点も重視し、支援の充実を図ります。

法務省は「子ども養育に関する合意書作成の手引きとQ&A」の冊子を作成しましたが、市役所窓口において離婚届の対応はどのようになっていますか。

未成年の子どものいる方には、離婚後の子どもの健やかな成長と生活を支えるために必要な「面会交流」と「養育費」について話し合うことを説明します。冊子は、対象の方へお渡しするとともに「面会交流」や「養育費の分担」について取り決めていただくよう周知します。

市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)



無所属 加藤美幸

災害被災地支援

被災地へのボランティア活動を支援する考えはありますか。

公費で助成や補助などを行う考えはありませんが、復旧・復興には欠かせない存在であり、積極的な情報発信に努めていきます。

自力での避難が難しい方たちの命を守るために

避難行動要支援者とはどんな方ですか。

高齢や障がいのため災害時に自力で避難することが困難で、特に支援を必要とする方で、毎年名簿を作成します。

名簿はどう活用されますか。

平常時からの個人情報提供に同意された方のみ、自治区や民生委員、社会福祉協議会、警察等へ名簿を提供し、地域の自主防災訓練において自治区や町内会、隣組が避難をサポートし、安否確認や避難誘導訓練を行う地域も増えています。実際に災害が起きた時に

は、情報提供に同意されなかった方の分も含めた避難行動要支援者全体の名簿を避難所等へ届け活用します。

避難行動要支援者のうちハザードマップで示される阿久比川浸水想定区域内や、土砂災害警戒区域内で生活される方の地域別人数は把握していますか。

阿久比川浸水想定区域内の対象者は乙川地区169名、半田地区194名、成岩地区69名です。土砂災害警戒区域の対象者は亀崎地区31名、乙川地区3名、成岩地区1名です。今後は名簿上に情報を掲載し支援体制の充実を図ります。

水防法の改正により義務化された要配慮者利用施設避難確保計画とは、避難経路図の作成や避難誘導の手段、体制を定め、利用者の円滑で迅速な避難確保を図るための計画です。その対象となる施設数や作成の状況はどうですか。

阿久比川の浸水想定区域内で対象となる施設は26か所あり、そのうち16か所は計画作成済みです。残りの10施設に早期作成の支援をしています。



無所属 山本佳代子

民間住宅耐震事業促進と住リフォーム等促進事業を問う

平成29年度末で昭和56年以前に建築された木造住宅のうち、耐震診断が必要とされる数と耐震診断が終了した数とその比率、また改修された数とその比率はどうなっていますか。

平成29年度末で、昭和56年以前に建築され、耐震診断が必要な数は約7,300戸。そのうち、平成14年度から実施している無料耐震診断数は3,345戸で、約46%。耐震改修費補助の数は、平成29年度までに346戸。安全と判定された224戸を除いて、3,121戸に対する比率は、約11%です。

耐震改修にかかった平均費用はいくらですか。

平均約340万円となります。

地域のローラー作戦の進捗状況と今後の取り組みについて、どのように展開していく予定ですか。

自治区単位で、自治区の協力を得て、平成22年度から行っており、本年度からの3年間で、市内対象住宅の個別訪問を終える予定です。その後は重点地区を定めるなどとして、再度の訪問を行っていきます。

第6次総合計画では、平成32年度までに耐震化率95%を目標にしていますが、具体的な考えはありますか。

平成29年度末の住宅耐震化率は84.7%であり、目標の達成は難しいですが、ローラー作戦の継続や、防災訓練などでのPR、耐震改修相談の実施などを行っていきます。

住宅リフォーム等促進事業を導入して、地域経済の活性化と、民間住宅耐震事業の促進を図って欲しいですがいかがですか。

景気の回復もあり、愛知県内でも実施している市町村は、4市町村にとどまっております。現在の制度を優先して行っていくので、導入する考えはありません。

観光振興の取組み



日本維新の会 無所属 竹内功治

観光振興の取組み

半田市は「山車、蔵南吉、赤レンガ」等、多くの観光資源がありますが全国的な知名度は低いですが、マスメディアの活用はどうしていますか。

報道機関や愛知県観光協会を通じてマスメディアに情報提供と取材要望を行っています。広報活動として、半田市ゆかりの有名人にふるさと応援大使等を依頼してはどうですか。

今後の検討課題としていきます。

映画等の口ケ地になると知名度UPや経済波及効果が期待できます。市単独のフィルムコミッションを設立して誘致を進めてはどうですか。

現在、愛知県フィルムコミッション協議会と連携して成果もありません。設立は考えていません。半田市出身のアニメーション作家等と連携して、アニメ関係の口ケ地を誘致できませんか。アニメは高い波及効果も見込まれるため、今後の検討課題とします。



ユーザーバーの動画サイトに口ケ地を誘致してはどうですか。

今まで考えていなかったので検討します。

はんだ醸すご飯は成功と考えていますか。認知度は向上していますが、醸造調味料という枠では漠然としているため、酢を使った寿司にスポットをあてるなど新たな周知に取組みます。

新たな半田名物の食を考えますか。

新たな名物は考えていませんが、特産品の知多の牛や豚等が食べられるお店の紹介を行っています。

観光客は非日常的で、求めています。No.1を指していますか。

半田市の観光資源をさらに磨き上げ全国にPRして、知名度UPと誘客を図っていきます。



半田市の観光振興



創造みらい半田 中村宗雄

市長は今年の重点施策の三本柱の中に「観光振興」を掲げていますが、市長の考える観光振興の重要性についてお答えください。

観光振興による観光客の誘客と地域経済の活性化は、定住人口の減を交流人口の増で補えることや、定住人口の維持も期待できるので、重要政策としています。

約21億円の税を投入し半田市の観光のシンボルを目指した半田赤レンガ建物の現状と評価についてお答えください。

昨年の来場者数は目標の約36万人を達成されていますが、経済波及効果の30億円は未達成となっており、評価としては、カフェやクラブハウスの利用などを改善すべき課題と伸び代を考慮し70点とします。

センターアに隣接している半田市のインバウンドの需要の現状についてお答えください。

人で全宿泊者の約8%であります。

今年の10月から半田とセンターア間のバスが一日8便と大幅に増便されますが、それに合わせたインバウンド需要獲得の施策についてお答えください。

これまでWiFi・Fi環境の整備や観光サインの多言語化に取り組みましたが、今後一層インバウンド需要の取込みのためのPRと受入れ体制の整備を図っていきます。

「観光×スポーツ」のスポーツツーリズムや「観光×医療」の医療ツーリズムなど、半田市にはまだ活用されていない観光資源が山ほどありますが、今後の新しい観光に対するお考えをお答えください。

テーマ性の強い体験交流型の新しいタイプのツーリズムについては、地域活性化に有望であると考えるため、アンテナを高くして情報収集を行い、庁内の関係部署や関係機関に働きかけていきたいと考えています。



夢のある公園整備を考える機会に



創造みらい半田 鈴木幸彦

市内にある公園の安全点検と管理はどのように行っていますか。

遊具の点検については専門業者にて年6回、樹木等は造園業者にて月1回のパトロール、小さな公園の除草については地元自治区のご協力と維持管理しています。

今後直近の公園改修計画はありますか。

宮池の周りを散策できるように自然に親しめる憩いの場として、平成32年4月完成を目標に任坊山公園を整備しています。

公園を新設や改修する場合、どのような会議体で協議されますか。

中のお母さん、お散歩をする高齢者の方など、生の声をたくさん集めるべきではないですか。

市民の声を取り入れる手段としてパブリックコメントがあります。任坊山公園改修については1件のみですがご意見をいただきました。

「この施設は誰のためにあるのか。どうしたら夢のある施設になるのか」この答えは利用者が一番わかっているはずですが、例えば公園改修なら、実際に公園で遊んでいる利用者には意見や要望を求めることが最善の策と考えますが、いかがですか。

その部分は確かに甘かったと思います。今後はもっと現場に向き、利用者の夢のある声を集め、公園に限らずその他施設づくりに活かしていきたいと思えます。

見事に肩書のある方々が並んだ組織のようですが、公園は誰が利用するのですか。夢のある公園をつくるには、本来利用する子どもや子育て

見事に肩書のある方々が並んだ組織のようですが、公園は誰が利用するのですか。夢のある公園をつくるには、本来利用する子どもや子育て



質の高い学び



志民ネット 小栗佳仁

キャリア教育の現状と課題・改善を伺います。

全国学力・学習状況調査の結果では「自分に良さがあがる」「進んで読書をしている」などの質問項目で、全国や県と比べ肯定的に回答した子どもの割合が高くなっています。一方で「自分で計画を立てて家庭学習をする」「自分の考えや意見を積極的に発表している」などの質問項目で課題が見られます。教師主導の解説型の授業を脱し、子ども同士が自らの疑問や興味・関心に基づく学習課題を追究し合い、主体的・対話的に学ぶ授業を通して、意欲的に学び続ける子どもを育てていきます。

協同学習を取り入れた授業改善について伺います。

学校ごとに「主体的・対話的で深い学び」をテーマに授業改善に取り組んでいます。自己の考えを深める「対話的な学び」を授業の中に取り

学校ごとに「主体的・対話的で深い学び」をテーマに授業改善に取り組んでいます。自己の考えを深める「対話的な学び」を授業の中に取り

入れるなど、子どもが主体的に学び続ける姿を目指した授業改善を推進していきます。



安全な学校給食

給食センターの室温と湿度の影響について伺います。

食品衛生法の基準に規定はありませんが食品は長時間放置せず、短時間冷却を行うなど適正な温度管理に努めています。働く方には、大変厳しい労働環境となっていることから、委託業者と協議し、数日間、一部の窓を網戸にして調理を行うなど応急的な対応をいたしました。施設管理者としての、スポットクーラーの設置などを検討していきます。

納入食材の製造工程や検査状況の書類審査について伺います。

製造工程表を作成している食品業者から書類提出をして頂き、試行的に書類検査を実施するなど、HACCPに基づく制度の運用開始に向けた準備を行い、法の基準に沿ったより安全な給食の納入に努めていきます。

製造工程表を作成している食品業者から書類提出をして頂き、試行的に書類検査を実施するなど、HACCPに基づく制度の運用開始に向けた準備を行い、法の基準に沿ったより安全な給食の納入に努めていきます。



審 議 結 果

平成30年第5回定例会（8月28日～9月26日）

（ ）内は議案の補足説明です。

■全会一致で可決の案件

議案 番号等	議 案 名	議決結果
議案 53	平成30年度半田市学校給食特別会計補正予算第1号 (繰越金を材料費の高騰などのときに使えるよう予備費として計上)	原案可決
議案 54	平成30年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第1号 (国民健康保険の超過交付分を国庫へ返還する措置)	原案可決
議案 55	平成30年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第1号 (介護保険の超過交付分を国庫へ返還する措置)	原案可決
議案 56	平成30年度半田市立半田病院事業会計補正予算第2号 (新病院建設のための地盤調査委託や寄附金を病院整備基金へ繰り入れるなど)	原案可決
議案 57	平成30年度半田市水道事業会計補正予算第1号 (病院建設事業に伴い配水管布設工事額の2分の1を病院事業会計に繰り出すもの)	原案可決
議案 58	半田市手数料条例の一部改正について (建築基準法一部改正で、認定事務が愛知県から半田市に移ることに伴う接道案件にかかる手数料の新設)	原案可決
議案 59	平成29年度半田市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について (水道事業会計の未処分利益剰余金を自己資本金などに組み入れるもの)	原案可決
議案 60	半田市公平委員会の委員の選任について (平成30年10月15日任期満了に伴い、新たに中野好広氏とするもの)	同意
議案 61	半田市固定資産評価審査委員会の委員の選任について (平成30年12月18日任期満了に伴い、引き続き白井信之氏とするもの)	同意
議案 62	半田市教育委員会教育長の任命について (平成30年9月30日任期満了に伴い、新たに鈴木慶光氏を任命するもの)	同意
議案 62	半田市教育委員会の委員の任命について (平成30年9月30日任期満了に伴い、引き続き榊原肇氏を、同日付をもって一身上の都合により委員が退任することに伴い、新たに久米宏和氏を任命するもの)	同意
認定1	平成29年度半田市中小企業従業員退職金等福祉共済事業特別会計歳入歳出決算	認定
	平成29年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算	認定
	平成29年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算	認定
	平成29年度半田市学校給食特別会計歳入歳出決算	認定
	平成29年度半田市黒石墓地事業特別会計歳入歳出決算	認定
	平成29年度半田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算	認定
	平成29年度半田市モーターボート競走事業特別会計歳入歳出決算	認定
	平成29年度半田市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定
平成29年度半田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	
認定3	平成29年度半田市水道事業会計決算	認定
認定4	平成29年度半田市下水道事業会計決算	認定
意見 書案1	定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の提出について	原案可決

■その他の案件

議案番号等	議案名
報告11	専決処分の報告について（公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定）
報告12	平成29年度半田市決算に係る健全化判断比率について
報告13	平成29年度半田市公営企業決算に係る資金不足比率について
報告14	平成29年度半田市水道事業会計継続費の精算報告について
報告15	知多南部卸売市場株式会社の経営状況について
	常任委員会の中間報告について

■賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名	議員名	創造みらい半田										公明党		志民ネット		日本維新の会 無所属連合		無所属		議決結果			
			嶋崎昌弘	成田吉毅	岩田玲子	鈴木幸彦	沢田清	中村宗雄	渡辺昭司	石川英之	澤田勝	榊原伸行	久世孝宏	山田清一	鈴木好美	山本半治	小栗佳仁	小出義一	中川健一	竹内功治		山本佳代子	加藤美幸	新美保博
議案52	平成30年度半田市一般会計補正予算第3号 （総務：半田病院への繰り出し金等 文教：小中学校の空調設備の設計費用、学童保育所の負担軽減のための奨励費等 建設：JR武豊線連続立体交差化事業の国庫負担金の増額分やブロック塀撤去補助金の拡充等）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	原案可決
認定1	平成29年度半田市一般会計歳入歳出決算	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	原案可決
認定1	平成29年度半田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	原案可決
認定2	平成29年度半田市立半田病院事業会計決算	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

（表の見方）議は議長（採決に加わらない）、○は賛成の議員、●は反対の議員

前回の平成30年度一般会計予算中、放課後児童クラブの保育料軽減案には、子育て支援に明確なビジョンが無い中、保育料一律値下げ、また未利用家庭との支援の格差等に疑問を抱き反対をしました。しかし、今補正予算案では、低所得者に手厚い補助であること、また多子世帯への負担軽減も図られ、補助対象が明確になったため賛成いたします。

鈴木幸彦議員

議案52号に賛成

賛成討論

JR武豊線高架化関連事業は一時間に往復4本しか走っていない単線の鉄道を高架化するのに約287億円もの税金を使う馬鹿げた事業です。そもそも誰も困っていません。税金の無駄使いです。加えて線路の高架化と土地区画整理事業により、JR半田駅前の残すべき古いまちなみの景観が破壊されてしまいます。

中川健一議員

議案52号に反対

反対討論

決算認定案の審査から

9月定例会では昨年度の予算が適正に執行されたか、その過程や結果について議会がチェックをする決算認定案の審査が行われ、いずれも認定されました。

委員会でのどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

総務委員会

はんだ市報

問 監査委員の意見書では、元々全戸配付という基本ルールに基づき、全員に渡るよう求めています。自治区に対し全員に配るようお約束いただくか、未加入世帯には配らなくていいと決めるのか、どう考えていますか。

答 自治区には全戸配付をお願いしています。それを受け止めて未加入世帯にも配っていたらいい自治区とそれができずに公民館や区民館等に置いている自治区がありますので、区長会で改めて議論していきます。

消防施設整備事業

問 民有地に設置されている防火水槽の借地料や固定資産税の取り扱いについてのルールはありますか。

答 取り扱いが不統一なものが確認されており、土地対策会議において整理しています。防火水槽に限っては、消火栓の設置も進んできていますので、本来に必要な水利なのか調べたうえで、今後の方向性を定めていきます。

半田病院事業経営

問 9年ぶり赤字決算で大変残念に思います。人件費、材料費等の費用増、様々な要因があると思いますが、1億2千600万円の赤字に対し市長の考えを伺います。

答 平成29年度は県内病院で赤字になるなど、どこの公立病院も厳しい経営状況でありました。なおかつ診療報酬を多く稼げる診療科の医師が手薄になったということもありました。今後は名古屋大学の医局とのパイプを更に太くして、必要な診療科に対し、経験豊かな医師を派遣していただけるよう努力します。

看護助手・メディカルアシスタントの確保

問 それぞれ75名、33名の目標に両方とも届いていませんが、目標の立て方をどのように考えていますか。

答 目標値は診療報酬加算を基準としており、看護助手75名に関しては、看護補助体制加算の最大値、メディカルアシスタントについて



ては医師事務作業補助体制加算の最大値33名としています。定数に届いていない理由としては、資格を全く必要としないので、医学用語の知識が全くない方が突然、病院の中に入り、合わないということとで退職に至ったりしたことなどによるものです。

文教厚生委員会

地域福祉推進事業

問 ふくし井戸端会議の参加者の固定化について、どのように改善しましたか。

答 平日の昼間に開催していた会議を土日や夏休みに開催したので、普段は仕事で来られない方や学生の方の参加が増えました。

老人クラブ活動助成事業

問 会員数の減少と担い手不足の現状をどう考えて、今後取り組んでいきますか。

答 会員数が減少しても事業等は減らずに役員の負担が増すなどの課題があります。今後は事業の整理とクラブのスリム化を図っていきます。



保育園の待機児童対策

問 受け入れの定員を増やす対策は行っていますか。

答 いつも低年齢児が待機児童になるので移転新築をした保育園の定員を15名拡大しましたが、定員を上回る入園希望がありました。そのため今年度はさらに21名拡大しました。また来年4月、民間の小規模保育所2か所が開設される予定です。

要保護児童対策事業

問 半田市の要保護児童の現状と、虐待する側の傾向はどうなっていますか。

答 虐待の通告件数は大きく減少していませんが、これは市民が虐待への意識が高まっているものと考えています。なお虐待の傾向として、ネグレクトの割合が多いです。

スクールカウンセラー派遣事業

問 半田市独自の補助で、スクールカウンセラーの追加派遣を行っている成果をどのように考えていますか。

答 児童生徒や保護者から



だけでなく、教員からの相談が増えています。専門家に相談できる体制が整い、教員から児童生徒への支援の強化ができたことが成果の一つと考えています。

適応指導教室の設置

問 半田空の科学館内に不登校児童生徒のための適応指導教室がありますが、分室として始めた図書館や公民館での受け入れについて、状況はどうなっていますか。

答 図書館から学校に戻ることができた事例や公民館からフリースクールに行くようになった事例など、地域の施設で見守って頂きながら児童生徒の支援に努めています。



建設産業委員会

危険なブロック塀

問 老朽化建築物取り壊し促進・空き家対策事業について現状では危険なブロック塀の推定数を算出して事業を実施していますが、実数の把握を行う予定はありますか。

答 現在実施中の行政協力員による調査や、小中学校

からの通学路上の調査などの報告を受け、技術職員による現地調査を行い、実数の把握に努めています。把握した箇所については、地図に記録して情報を管理したうえで、所有者に取り壊しをお願いするとともに、補助金制度の活用を案内していきます。



ごみ減量対策事業

問 市民一人1日あたりのごみ排出量の目標値が達成できなかったことについてどのように考えていますか。

答 様々な取組みは行っているものの、大きな成果をあげられていないのが現状です。ごみの中に含まれている資源の割合が年々増加しており、市民の分別意識が低下していることが一番の要因であると考えています。

問 生ごみしたい肥化容器等設置奨励補助事業について大変有効なごみ減量事業と思いますが、交付件数が低下している結果についてどう考えますか。

答 ごみ減量の必要性を周知する中で、生ごみ堆肥化

容器や生ごみ処理機の有用性や補助事業について更にPRしていきたいと考えています。

**JR半田駅前
土地区画整理事業**

問 事業期間は平成46年までとなっておりますが、工事の終了時期はいつになるのですか。

答 工事期間は、JR武豊線連続立体交差化事業に合わせ、平成39年度中の完了を予定しています。

水道事業経営

問 県水受水費の見直しはどのように行われていますか。また、水道基本料金を上げないためにどのような努力を行いましたか。

答 県水の基本料金は、水道使用料の多い夏場において、一日あたりの最大受水量を抑えるよう、夜間を中心に職員による受水調整を行い、県水の基本料金を下げることができました。また、収納率の向上や、県水受水費の低減、効率的な配水を継続するなど事業費用の低減にも努め、県下でも安い水道料金を維持しています。

**決算審査に係る
反対討論**

中川健一議員

一つ目の問題は長期的な事業計画や財政計画のあり方がずさんであることです。二つ目、本来は連動しているべき部をまたがる事業がんでバラバラに実行されました。

三つ目は市長の市議会での答弁や市民への説明責任がデタラメであった、と言うことです。市長は猛反省し、やり方を見直すことを要望します。

山本佳代子議員

半田市一般会計等歳入歳出中りニア中央新幹線建設促進愛知県期成同盟、中部国際空港を核とした知多地域振興協議会に対して、負担金の支出は、採算性や環境問題からもやめるべきです。知多地方滞納整理機構は納税者に寄り添った徴税行政の上から脱退すべきです。市民課窓口委託・保育園給食調理等委託など、民間に委託はやめるべきです。



**総務委員会
委員会活動報告
(要旨)**

調査テーマ

「半田病院の経営形態と役割」

「常滑市・半田市医療提供体制等協議会」が開かれ、10月には常滑市・半田市両市長へ報告されることから、9月議会での中間報告として、早急に取り組むべき事項3点を提言します。

1 半田病院と常滑市民病院の経営統合をすること。

重複する診療科を再編し、限られた医療資源を集中化することにより効果的な医療提供体制を目指します。

2 半田病院を地方独立行政法人化すること。

地方公務員法の制限を受けずに必要な人材を確保でき、医療の質・サービスの向上につながります。

3 阿久比町、南知多町、美浜町、武豊町と半田病院の役割分担に関する議論を早急に始めること。

常滑市のみならず、知多中南部4町との役割分担についても議論が必要です。

※詳細につきましては、ホームページ、来年2月発行の議会だよりに掲載します。

市民の皆様のご大切な税金を有効に使うために…

事業評価の対象事業をお知らせします

Q 議会で行う事業評価ってなに？

A 市役所が前年度に行った事業が、半田市民のために役に立ったのか、有効性、妥当性、効率性の観点で議会が評価し、その評価結果を翌年度の予算編成へ活かしていただくよう市長に対し、要望します。このくり返しにより「無駄」をチェックすることができます。

多くの施策の中から特に重要な施策を常任委員会分科会ごとに選定し、以下の10施策が対象となりました。

※2月1日号市議会だよりにて評価結果を公表します。

	個別施策名	施策内容
総務委員会	自治区の組織力強化	<ul style="list-style-type: none"> 地域への関心を深め、住民相互の連帯感を醸成するため、コミュニティ活動を支え、地域自治の基本組織である自治区への加入促進に努めます。 各自治区の情報や抱える課題の共有を図るとともに、自治区のあり方の検討を進めます。
	人材の確保（半田病院）	<ul style="list-style-type: none"> 充実した診療体制と7対1看護体制の維持を図るとともに、災害拠点病院（地域中核災害医療センター）、地域周産期母子医療センターとしての機能を果たすため、医師、看護師などの医療従事者を確保します。 医師、看護師の業務負担を軽減し、職務に専念できる体制づくりを進めます。
	長期的かつ安定的な財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> まちの活性化促進による財源確保に努めます。 財源の根幹である税収入の安定確保のため、適正な課税と収納率の向上に努めます。 財政状況を考慮するなか、財政調整基金などの長期的財源となる基金への積立てを実施します。 安定財源の確保のため、新たな財源の開拓に努める一方、国に対して、地方の役割分担に見合った財源確保が図れる税制への改革を求めています。
文教厚生委員会	ひとり親家庭への支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 子育て・生活、就業、経済的支援など総合的な自立支援策の推進を図ります。 ひとり親家庭等の医療費助成により、安心して医療機関に受診できるよう努めます。
	生活習慣病等予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> 年に1回の健康診断を勧めるとともに、健康相談や健康教育等の実施により生活習慣病やその他の疾病予防に努めます。 がん検診を充実し、がんの早期発見・早期治療を図ります。
	地域課題の学習及び交流の場としての活用	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史や課題への関心を高め、地域活動を促進するため、地域課題をテーマとした講座・講演会を開催します。 各公民館で地域住民の交流を目的としたふれあい事業の充実を図ります。
建設産業委員会	3Rの普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> 環境への負荷低減と天然資源の消費節減を図るため、ごみの発生・排出抑制（リデュース）、製品等の再使用（リユース）、資源の再生利用（リサイクル）の3Rの普及・啓発を図ります。
	3R活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみの水切り、堆肥化容器・処理機の利用、マイバッグ・マイ箸・マイボトルの活用等を奨励し、家庭ごみの排出抑制を図ります。 事業系一般廃棄物の実態把握と分別指導を行い、減量化を図ります。 廃食用油・ペットボトルキャップの拠点回収や容器包装回収品目の拡大を図ります。 各自治区・子ども会等の地域集団資源回収を奨励し、地域が主役の3R活動を推進します。 ごみ出しに関する案内冊子の配布や、ごみ減量等推進員の活動を通じてごみ分別の徹底を図ります。
	廃棄物の適正処理	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化・資源化等を進めて一般廃棄物最終処分場の延命化を図ります。 産業廃棄物の適正処理について、関係機関と連携して指導監視に努めるとともに不法投棄の未然防止に努めます。 生し尿及び浄化槽汚泥は、中部知多衛生組合で適切に処理します。
	老朽化建築物・空き家の適正管理の促進	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した建物の倒壊を防ぐため、建て替え・取壊し、空き家の適正管理を促進します。

第2回 クイズ!GIKAIへGO!! を開催しました

8/21
開催

近い将来、選挙権を有することになる中学生に議会や半田市への関心を高めてもらおうと、半田市役所議場にて昨年に続きクイズ大会を開催しました。

2人1組、計14組28名の中学生が参加。半田市や議会に関する問題に挑戦しました。

知っているようで知らない半田市の問題や普段は馴染みのない議会の問題。悪戦苦闘しながらも、半田市や議会に興味を湧かしたのでしょうか？



○×問題に挑戦!

参加されたみなさん全員が「おもしろかった」とアンケートに回答してくれました。驚きや笑いで議場が満たされ、楽しい一時を過ごすことができました。

クイズ終了後は、市役所見学を行いました。普段は立ち入ることのできない、地下にある免震装置や屋上などの施設も見学しました。

結果発表

- 優勝：チーム横川
西山 順人さん・米山 岳杜さん(乙川中学校)
- 準優勝：チームセラーノ
榎本 祐也さん・新美 了悟さん(半田中学校)
- 第3位：チーム青山
竹田 将大さん・中村 圭吾さん(青山中学校)

みなさん挑戦!!

出題された問題の一部です。

- 問1 成人年齢が18歳に引き下げられるのは、**2025年**からである。○or×
- 問2 現在の議長は、**75代目**である。○or×
- 問3 半田市議会の定例会開催時期は、3月・6月・9月・12月ですが、来年度の予算を審議するのは何月定例会でしょう。
①9月定例会 ②12月定例会
③3月定例会
- 問4 市議会議員の職に就きながら、兼ねることのできる職業は次のうちどれでしょう。
①公立中学校教員 ②大工 ③半田市職員
- 問5 半田市が力を入れている観光キーワードは、○○、蔵、南吉、赤レンガである。(○○入る2文字は何でしょう)
- 問6 平成30年8月1日現在の半田市の人口は何人でしょう。(答えは12ページにあります。)



政務活動費を使用した議員活動について

災害発生後に進めている集団移転事業について（平成30年7月18日～19日）

目的

南海トラフを震源とする巨大地震時に津波、高潮被害が半田市で起きた場合は集団移転が必要となる可能性がある。そこで集団移転事業について、自治体として取組みの進め方、関連地区との連携の仕方、またそれに関わる事前準備で出来ることなどを調査研究する。



視察地

宮城県仙台市・岩沼市

学んだこと

- ・個別に話を聞くのではなく、自治区（地区）の代表者を通じて話を進めた。
- ・移転対象となる6地区の代表者と行政が幾度も会議を開きながら、集団移転の候補地を決めた。
- ・地域住民が自ら意思決定したと思って頂けるように話を進めた。
- ・古くから続くコミュニティを重視し、集団移転は個別ではなく、地区ごとで移転を行った。
- ・6地区が1ヶ所の場所に集団移転したが、古い自治区ごとに住むエリアを区分している。
- ・13ヶ所の集団移転の候補地を示して、家と土地の残存価値や土地の無償借地等で、住宅再建の移転を促した。

半田市に活かせること

- ・地域が集団移転するとしたら、市内のどこへ移転をすることが出来るか、場所の確保も考えた可能性のシミュレーションをしておく必要がある。
- ・半田市では大規模災害時に仮設住宅を市内17ヶ所、1,451戸を作る計画となっている。この仮設住宅をどの自治区に割り当てるのか、事前に自治区と行政とで議論する必要がある。

12月定例会の予定 12月4日(火)から14日(金)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します。

Q&A GO!! R11クイズの回答

問1. × (正:2022年4月1日から) 問2. ○ 問3. ③ 問4. ② (兼職禁止とされているのは、国会議員、地方公共団体の議員や職員等です。地方自治法第92条) 問5. 山車 問6. 119,709人

あとがき

猛暑の夏が過ぎて、やっと秋の深まりを感じさせる頃となりました。そろそろ年賀状や、クリスマスの話題が新聞に掲載され、月日の経つ早さを感じて、どこか焦る気持ちになります。

さて、皆さんは10月から実証運行されている、地区路線バスに乗られましたか。新しく可愛いバスの評判はどうですか。車窓から見る「まちの風景」は、また違った新たな発見があるかもしれません。お出かけを楽しく、バスの中や待合所では話に花が咲く、そんなまちづくりになるよう議員一同、皆さんの声を市政に生かしてまいります。

広報委員会

- 委員長 鈴木幸彦
- 副委員長 中川健一
- 委員 山本佳代子・小出義一
岩田玲子・山本半治

編集・発行 半田市議会

〒475-8666
半田市東洋町2-1
☎0569-0694
FAX 0569-7185
E-mail: gjij@city.handa.lg.jp

